



# 第4駐車場新設

従業員数も180名となり、目標の200名もいよいよ現実味を帯びてまいりました。昨今の人手不足の中、ありがたい事に毎月のように新しい仲間が増え、今期中の目標達成も十分射程圏内となっております。

さて、従業員さんが増えるのは大変喜ばしい事なのですが、一方で今度は車両が不足してしまいます。これを見越し12月は、4t車5台、2t車2台の計7台のトラックを増車する運びとなりました。今回の増車で、本社と浜松東営業所を合わせ150台のトラックを所有することとなります。

さてさてもうひとつ忘れてはならない事があります。そう、駐車場の確保です。現在マイシン（本社）には第1、第2、第3の駐車場がありますが、いずれの駐車場もすでにほぼ飽和状態です。



第4駐車場予定地

そこでこのたび、神野新田町ヲノ割に約880坪の駐車場を新たに借りることとなりました。場所はジャパンビバレッジ様の隣（北西側）です。現行の駐車場はかなり手狭で、余計な神経を使わざるをえない状態ですが、この第4駐車場が新しく増えることで、余裕を持って快適に駐車できるようになるでしょう。

今年も残すところあと僅かとなってきましたが、環境は着実に整ってきております。来年はさらなる飛躍が望める楽しみな年となりそうです。

管理部課長 杉浦広史

## 事故撲滅トレーナー養成講座修了

以前一般部春日部長、冷凍部菅嶋部長、管理部稲橋係長が参加された事故撲滅トレーナー養成講座に、新たに営業部長岡課長、一般部中野係長、一般部清田リーダー、冷凍部加藤課長、管理部岩瀬リーダー、浜松東営業所藤田係長の総勢6名が参加し、この度全課程を修了しました。講座を終えられた感想を、管理部岩瀬リーダー、浜松東営業所藤田係長よりいただきました。



この度は事故撲滅トレーナー養成講座を受講させて頂きありがとうございました。

この講座では、映像を用いたKYT(危険予知訓練)活動を多くの乗務員さん達に見てもらい、事故再発防止に必要な知識を身に

付け危険予知の能力を高めることの大切さと、どのようにすればそのことを上手く伝えられるのかについて教えて頂きました。

現在、私はその学びをグループミーティングや事故惹起者に対する再発防止のための面談、新人研修等に活かしています。面談も当初は司会などに苦戦していましたが、何度かこなしていくうちに次第に進行もスムーズにできるようになりました。乗務員さんの事故防止に対する考えを率直に聞き、こちらからも研修の学びを伝える事で、より危険予知能力を高めてもらえるようになったと思います。

今までは文章や言葉のみで伝えようとしてきたことが、映像という手段によってより理解してもらいやすくなったと実感しています。

今回の講座で学んだことを活かし続けながら、これからも事故を防止するための知識、意識を乗務員さん達と共に高めて、事故を少しでも減らしていきます。

管理部 岩瀬介治



7月30日(土)より約5ヵ月間、ヤマネット事故撲滅トレーナー養成講座に参加させて頂きました。

研修では、運送事業者に対する行政処分等を行うべき違反行為の知識や点呼

の大切さを学び、実際の事故映像を見てのKYT(危険予知訓練)トレーニング、グループディスカッションを行いました。特にKYTトレーニングでは、実際に映像を見ることで、より分かりやすく考えることや予測ができるようになりました。また自分が社内でも事故撲滅トレーナーとして行う実践課題もあった為、他社のメンバーの良い所を取り入れ乗務員さんへトレーニングを行いました。

研修は終わりましたが、ここからがスタートだと考えています。事故撲滅をテーマに、今後もグループミーティングの際にKYT映像を活用し実践を行うようにします。また事故が起きた際は、乗務員さんのせいではなく自分にも責任があるという気持ちを持ち乗務員さんを守れるようにします。自分自身まだまだ甘い部分、足りない部分はありますが、これからも成長できるように努力していきますので、よろしくお祈りします。

浜松東営業所配車課係長 藤田智久

# 活力朝礼を視察されました

11月24日(木)に盛和塾の皆様が5名、25日(金)に有限会社ディ・クリエイトの上西一美様が来社され、朝礼を視察されました。朝礼に参加した感想をいただきましたのでご報告します。



社員の方全員の一挙手一投足が一体となっていることに感動しました。はつらつとした、笑顔になれるような朝礼だと感じましたし、日々この朝礼を重ねているからこそ会社全体が伸びているのだと短い時間でも理解できました。

株式会社ノービル 長谷川元也様(左端)

とても刺激的な朝礼だと思いました。我が社でも活力朝礼は取り入れています、ここまでできてはいないなど実感させられました。活力の名を体現しているような素晴らしい朝礼でした。

丸み興商株式会社 馬淵紀充様(左から3番目)

全員の声がよく出ており、皆の心がひとつになっているなど感じました。共に参加させていただいて、自分の背筋も伸びるような思いでした。

有限会社ヤマザキ・ファーマシーズ 山崎卓司様(中央)

会長、社長のみならず、全社員が張り切って朝礼に取り組んでいる姿が素晴らしいと感じました。凛とした雰囲気朝礼は、我が社の活力朝礼でも見習っていきたいと思いました。

株式会社シバタ 大久保守晃様(右から2番目)

とても気持ちのいい朝礼を拝見させていただきました。また、朝礼前の事務所に入ってくる社員の皆様の挨拶が、奥に居ても聞こえてくるのが印象的でした。辻社長との会話から想像していた以上のパワーを感じました。

有限会社安形金物 安形恭伸様(右から3番目)

かねてより念願だった御社の活力朝礼に参加する事ができとても嬉しく思います。そして、まずとても驚いたというのが率直な感想です。この元気で一体感のある朝礼がマイシンの皆さんの活力の源なのだと実感しました。また機会があればぜひ参加したいです。



有限会社ディ・クリエイト 上西一美様

## (株)マイシン・(株)マイシン親睦会 新年会

開催日：平成29年1月7日(土)

開催場所：ロワジールホテル豊橋

30階スカイバンケット「ル・モン」

開催時間：総会 18:30~19:00

新年会 19:00~21:00

服装：①リーダー・サブリーダー スーツ(正装)

②スーツ(正装)をお持ちの方は着用してきて下さい。

③お持ちでない方は、勝負服でお願いします。

### チャーターバス情報

行き 18:00発 45名×2台

帰り(西駅行き) 21:10頃 45名×2台

シャトルバス(他のお客様と乗合い)

18:15発



## 3PL管理士講座修了



5月26日から11月18日まで、一般社団法人日本3PL協会主催の3PL管理士講座へ参加させていただきました。全国から29名の受講者の中、無事に3PL管理士資格を頂くことができました。

まず3PLとは、「Third (3rd) Party Logistics」の略であり、荷主業者(製造、卸売等)と物流業者(運送、倉庫)の二者間で行われる物流において、自社トラックや倉庫を持たない物流業者が第三者の立場からより良い物流を荷主様、物流業者様に提案していくことです。

自分自身、配車を行っています、荷主様への物流改善提案や、提案営業の知識に関しては乏しい部分がありました。そのため、講義を受講している間は、聞いたことのない言葉や内容に戸惑いましたが、講師の方々からわかりやすい説明やアドバイスをして頂いたおかげで、多くの学びを得ることができました。また、仕事の相談や情報交換ができる仲間が全国にできたことは、現在でも実務に繋がっています。

今回の学びを今後の業務に繋げ、お客様に提案営業をし、新たな取り組みを行っていきます。一般部部长 春日彰吾



運送業は初めてなので緊張していますが、確実に仕事を覚えていきますのでご指導よろしくお願ひします。

混載 3G 朝倉康史

前職とは時間帯が大きく違い大変だと思いますが、早朝からの業務に早く慣れるよう頑張ってください。作業は確実に身に付いているので、その調子で覚えていきましょう。

混載 3G 鈴木文生



体が資本の仕事だと思うので、体調には注意していきます。食べ物の好き嫌が多いので栄養管理には十分に気を使い仕事を身に付けます。

混載 2G 鈴木延昌

好き嫌いをせずバランスよく食べて、体調管理に努めて仕事に取り組んで下さい。今は覚えることが多く大変ですが、一緒に頑張っていきましょう。

混載 2G 谷岡勇



運送業は未経験でわからない事が多いので、色々教えて頂けると嬉しいです。怖そうに見られますがそんな事はないので、いつでも声をかけて下さい。

運行 6G 杉田梓

初めての運送業に戸惑った経験は自分にもあるのでよくわかります。疑問や困ったことは何でも聞いて下さい。12月は繁忙期で大変ですが、一緒に頑張ってお仕事を覚えていきましょう。

運行 6G 服部研一



9ヵ月ぶりの社会復帰なので心配は沢山ありますが、一日も早く業務を覚え皆さんをサポートできるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

冷凍部業務課 高部敬子

何事も素直に真剣に取り組んで、どんどん業務を身に付けようとしてくれているので嬉しいです。これから、お互いに支え合い協力して頑張っていきましょう。

冷凍部業務課 大林桃子

## 職場の教養12月号 株式会社アイデックス様掲載

普段から交流させていただいている株式会社アイデックス様が、この度職場の教養 12月号の表紙を飾られました。

我社と同様に「活力朝礼」を軸にチームワーク向上を図っており、本年度6月11日に行われた「第二回活力朝礼コンテスト」では、見事「活力賞」を受賞されました。日々進化を続ける朝礼は、オリジナリティー満載だそうです。また、「おもてなし委員会」を始め、全社員参加の委員会活動もとても盛んに行われています。石田様(表紙右の方)にも同じ言葉をいただきましたが、アイデックス様と我社には似ている部分があると感じます。また、鈴木社長の「企業の成長は、地域発展と共にあるべき」という言葉から、我が社も学ぶことは多いでしょう。

冷凍部部長 菅嶋博



### 「ごめんね」と「ありがとう」

中学校で教鞭を取り続け、十二年目になるA子さんは、結婚して子供を授かってからも、教員の仕事を続けてきました。生徒たちの成長を間近で見られる仕事に魅力を感じていたからです。

しかし、心の底から仕事に取り組めない一面もありました。それは、保育園に預けていた息子のことが気がかりだったからです。

〈息子に寂しい思いをさせているのではないか〉という後ろめたさから、保育園に迎えに行き、最初にかける言葉は「いつもごめんね」でした。

ある日、子育てのセミナーに参加したA子さん。悩みを初めて打ち明けました。

すると講師から、「親に『ごめんね』と声をかけられるより、『あなたが保育園で頑張っているから、お母さんは仕事ができるのよ。ありがとう』と言葉をかけられる方が、子供にとって良いことよ」と助言されたのです。

〈息子の存在が支えになって今の仕事ができるんだ〉と強く感じ、翌日の迎えから、早速感謝の言葉をかけたA子さんでした。

### 今日の心がけ：感謝の言葉を使いましょう

職場の教養：12月22日(月)より